

# 岩瀬地方町村議会議員協議会 総会で事業計画予算決める

平成26年5月14日（水）午後3時から天栄村レジーナの森において、平成26年度岩瀬地方町村議会議員協議会（小山克己会長）総会が開催されました。



議員協議会総会

当日は来賓として、岩瀬地方町村会長の遠藤栄作鏡石町長、添田勝幸天栄村長らが臨席する中、鏡石、天栄両町村議会議員22名が出席しました。

総会では平成25年度の事業報告と収支決算報告並びに平成26年度の事業計画と収支予算を原案どおり承認可決しました。

## 議会運営委員会 嵐山町等研修

総会終了後には、レジーナの森の雄大な自然を眺めながら懇親会が開かれ、両町村議会議員らが交流を深めました。

平成25年度議会運営委員会の視察調査は1月23日（木）24日（金）、埼玉県嵐山町とときがわ町において実施しました。



文化ホールのような議場（嵐山町）

嵐山町議会では「専門的知見の活用」等を研修しました。嵐山町議会は、自然環境に関して議員発議による新条例制定を目指し、大学教授等専門分野の講師を招き勉強会を開催するとともに、モニターング調査も行うなど先進的な議員活動を展開し、全国的にも先進事例として取り扱われる「緑と清流・オオムラサキが舞う嵐山町ストップ温暖化条例」を制定しました。また、役場3階にある議場は文化ホールとも思えるような素晴らしいであり、会議室にはプロジェクター等最新設備が設置されており、施設についても先進的なものであった。

ときがわ町議会では「議会報告会」等を研修しました。ときがわ町議会は報告会における町の予算や決算の資料を、町民に分かりやすくするため、議員自らが作成して報告している。報告会では個人の意見や考えを述べ、これを制限する「申し合わせ事項」を

作成し、公平な運営に努めているということであった。また、2村が合併してできた町の為、報告は旧村単位でそれぞれ実施し、住民に配慮しているということであった。



埼玉県嵐山町議会



埼玉県ときがわ町議会

## 編集後記

大震災と原発事故から三年、フクシマ原発事故を題材にしたマンガ「美味しんぼ」が大きな話題になっていきます。

県内では風評被害を恐れる側から強い批判が起っている。一方で事故の風化と原発再稼働の動きに危機感を持つ人々。この両者のせめぎ合いがこのマンガを論戦の具にしている。私たちに何より大事なことは「低線量の被曝は本当に私たちの将来に害がない」と断定できるのかどうかを、もっと謙虚にそして科学的に調査と研究を進め、それを公正に報道することを求めたい。

### 発行責任者

議長 渡辺 定己

### 広報編集委員会

- |      |        |      |       |       |
|------|--------|------|-------|-------|
| 委員長  | 委員     | 委員   | 委員    | 委員    |
| 丸谷 寛 | 大河原 正雄 | 菊地 洋 | 長田 守弘 | 小林 政次 |
|      |        |      |       | 仲沼 義春 |



## “牧場の朝”さくらウォーク

4月13日（日）に実施された『牧場の朝さくらウォーク』今回は、駅と岩瀬牧場を結ぶルートで行われました。このイベントは町観光協会、かがみいしスポーツクラブそしてJRが連携して行われており、駅を発着点とすることから町外からの参加者も多く見込める等、新たな町おこし事業として期待されています。



# かがみいし 議会だより

No.152  
平成26年6月  
発行 福島県鏡石町議会  
編集 議会広報編集委員会  
〒999-0401 福島県岩瀬郡鏡石町  
不崎345  
電話0248(62)2110  
印刷 (株)永山印刷



# 復興予算は3年連続100億円超に

平成26年度の予算総額は、一般会計と10特別会計等の合計で102億4,944万円となり、3年連続100億円を突破しました。

一般会計は60億円台となり、3年ぶりに70億円を下回る予算になりました。

平成26年度各会計当初予算

(単位：万円)

会計区分	26年度	25年度	増減率 (%)	
一般会計	651,000	705,000	△7.7	
国民健康保険特別会計	143,086	136,510	4.8	
後期高齢者医療特別会計	9,347	8,852	5.6	
介護保険特別会計	71,946	68,524	5.0	
土地取得事業特別会計	3,901	301	1,196.0	
工業団地事業特別会計	9,207	4,675	96.9	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	20,370	9,850	106.8	
公共下水道特別会計	49,580	46,730	6.1	
農業集落排水特別会計	6,600	6,600	0.0	
育英資金貸付費特別会計	1,075	931	15.5	
小計	966,112	987,973	△2.2	
上水道事業会計	収益的	24,568	23,325	5.3
	資本的	34,264	43,677	△21.6
	計	58,832	67,002	△12.2
合計	1,024,944	1,054,975	△2.9	

## 復旧復興に三年連続大型の予算を議決

平成26年度の予算等を決定する第11回鏡石町議会定例会は3月4日(火)開会し、最終日に提出された3件の追加議案を含めて49の案件を審議議決、14日(金)に閉会しました。

今回の定例会では、東日本大震災からの復旧復興に係る3年目の予算の審査があり、その総額は3年連続で百億円を超える大型予算審査となりましたが、一般会計は復旧復興の進捗により2年続いた70億円台を下回り、60億円台となりました。

## 人権擁護委員に今泉氏

町に4名いる人権擁護委員の中で任期満了となる1名について、新委員として中町の

## 役場庁舎新築基金条例等改正

3年目の予算の審査があり、今泉和樹氏の推薦意見を求める諮問が提出され、推薦することを可決しました。

今定例会では12の条例改正を審議可決しました。「鏡石町役場庁舎新築事業基金の設置・管理及び処分に関する条例の一部改正」は、基金積立額を3千万円から2千万円に

## 予算審査特別委員会設置3日間にわたり新予算審議

平成26年度予算の審査では、渡辺議長を除く11名の議員で「予算審査特別委員会」を設置。委員長に小林政次議員、副委員長に長田守弘議員を選出しました。

の3日間にわたり開かれ、一般会計外10会計を審査しました。

第11回定例会会期中の予算審査は3月10日から12日まで

## 審議した主要事業

- ・ 審議した予算を町の主要事業別にみると、次のようなものがあります。
- △災害復旧事業▽
  - 2億6千万円
- △被災者支援事業▽
  - 4億5千万円
- △防災関係事業▽
  - 4千4百万円



耐震化補修される役場庁舎

- ・ 防災情報通信設備改修事業
- ・ 防災マップ策定事業
- ・ 消防屯所建設調査事業
- △原子力災害対策事業▽
  - 9億6千万円
- ・ 除染用仮置場事業
- ・ 一般住宅等除染対策事業
- ・ 農林施設等除染対策事業
- ・ 教育施設等除染対策事業
- ・ 農業系汚染廃棄物処理事業
- ・ 食品モニタリング事業
- ・ 福祉施設等除染対策事業
- ・ 水道施設等除染対策事業
- 他7事業
- △ブランドイメージアップ▽
  - 1千6百万円
- ・ イメージキャラクター創造
- ・ ふくしまDC推進事業

## 陳情2件採択

今定例会には陳情が2件提出され、産業厚生常任委員会(大河原正雄委員長)に付託。3月7日に開かれた産業厚生常任委員会において審議しました。

付託された2案件、陳情第17号「要支援者への予防給付を市町村事業とすること等に関する意見書提出に関する陳情」及び陳情第18号「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情」については、委員会で審議の結果「採択すべきもの」と決しました。

## 意見書2件可決

採択した陳情2件に係る意見書については、議事の最後に追加案件として次のとおり提出されました。

意見書案第16号  
「要支援者への予防給付を市町村事業とすること等をとり下げることを求める意見書」

意見書案第17号  
「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」

○提出者  
大河原正雄産業厚生委員長

○賛成者  
長田守弘総務文教委員長  
菊地洋議会議運営委員長

意見書2件については、原案どおり可決し、地方自治法の規定よって、内閣総理大臣や所管する大臣等へ送ることとなります。





○北部エリア開発  
「道路整備に併せて工業団地を」  
○鳥見山セントラルパーク  
「大規模大会開催のため駐車場拡大」  
○町道並木通プロジェクト  
「震災復興に街路樹並木を」

今泉文克議員



鳥見山公園は町のセントラルパークともいえるもので、多くの大会が開催されているが、千人以上の参加者や大会関係者が集まると路上駐車等を見ることがある。「おもてなし」の大会として、選手がベストコンディションで大会に臨むためにも、駐車場拡大は必要でないか。

質問

鳥見山公園には555台の駐車場があり、状況に応じて野球場も開放すると約800台分の駐車場がある。駐車場の増設の検討も必要であるが、まず、主催者側の大会運営として、警備員の適切な配置による誘導が大切ではないかと考える。

都市建設課長

鳥見山公園では、サッカーの福島ユナイテッド等大きな大会が開かれている。市町村駅伝や町の駅伝ロードレース大会でも多くの方が集まっている。関係者の間では駐車場不足の声が聞かれるが、駐車場を拡大してはどうか。

質問



鳥見山公園駐車場の拡大を

町長

公園の近くには岩瀬牧場や第二小学校の駐車場もある。また、財政面も考慮する必要がある。色々な面で検討が必要と考える。

質問

国道4号4車線化、118号線のバイパスそして高久田一貫線等、町内の主要導線が完成しつつあり、町北部の開発促進を強く感じる。須賀川IC近くの北部工業団地付近に、工業団地を増設すべきと思うがどうか。

総務課長

町の総合計画では駅東区画

質問

駅東地区に準工業地域があるが、当初は住宅地の計画だった。工業団地のコンセプトはどうなっているか。

町長

開発公社には5億円の借金がある。経済状況や財政状況を考えると工業団地整備には踏み切れない。

質問

東日本から丸3年が経過したが、日々多くの変化があった。今回駅前復興シンボルモニュメントが建設されるが、震災からの復興した町づくりに、惨状があった道路沿いに街路樹並木を整備することは、町民や来町者に復興を感じさせ、美しい町づくりを印象付けようと思うが、推進してはどうか。区によってイチ



街路樹の並木通りを

町長

町の基本計画として「緑と水のまちづくり」を推進している。今後も道路沿いの緑化や花いっぱい運動等町民皆様の協力で進めたい。鏡田地区の百日紅も素晴らしいと感じている。そうしたものを考慮しながら「歩いてみたい町づくり」を進めたい。街路樹の並木づくりには植栽用地も必要のため、検討課題としたい。

審議の結果（第11回定例会）

議案件名等	議案の概要	結果	円谷	古川	菊地	長田	小林	畑	井土川	大河原	今泉	仲沼	木原	渡辺
専決処分の承認	岡ノ内地区損害賠償事件訴訟代理人委任委託料	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦諮問	今泉和樹氏（中町）を人権擁護委員に推薦	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正によるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
役場庁舎新築基金条例の一部を改正する条例	基金積立額の減額変更及び基金使途に増改築を加えるもの	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○円谷議員「第3次総合計画で駅東に庁舎を建設するとしてきた。基金減額は建設を放棄したと考えてよいのか」 =A町長「庁舎建設を放棄したものではない。災害復旧に予算もかかるため、現庁舎を耐震化し、延命を図らなければならない」 ○円谷議員「駅東開発を成功させるためには庁舎が必要だ。災害でも小千谷市は財政が良くなっている。安易に基金を減額することは反対だ」 =A町長「庁舎建設の手を下したわけではない。現庁舎の耐用年数も考慮して対応したい」														
税条例の一部改正	入湯税の課税免除に関するもの及び税額の減額変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふれあいの森公園条例の一部改正	事務所改築による所在地の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道条例の一部改正	消費税改正に伴うもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市計画下水道事業受益者負担条例の一部改正	下水道事業受益者負担について、不正した場合の罰則条例を追加するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水処理施設設置条例の一部改正	消費税改正に伴い使用料を一部改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業受益者負担金条例の一部改正	農業集落排水事業受益者負担金について、規則違反者の罰則条例を追加するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○円谷議員「公共ます1カ所106,000円となるが、さすがあれば要らないのか」 =A上下水道課長「既存ますがあれば要らない」														
上水道給水条例の一部改正	消費税改正に伴う水道料金の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上下水道運営審議会条例の一部改正	審議委員招集の特例を追加するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
体育施設条例の一部改正	鳥見山多目的広場使用料を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩瀬地方町村障害程度区分等審査会規約の変更	上位法改正により法律名称等を改正するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
耐震性貯水槽設置工事変更請負契約の締結	消費税改正により契約金額増額変更するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○今泉議員「当初落札時に工期は年度内としているのか。年度内工期が繰越したために、消費税プラス分3%を町で負担するのは如何なものか」 =A総務課長「工期は標準工期であるが年度内終了しない場合、繰越制度により処理することになる」 ○今泉議員「通例では繰越のみだが、今回は消費税アップがあるので事前に詳しく説明すべきである。アップ分は町の持ち出しとなるのか」 =A総務課長「消費税アップについては町にも負担を求めているが、認められない状況である」														
ふれあいの森公園アスレチック遊具更新工事変更請負契約の締結	消費税改正により契約金額増額変更するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふれあいの森公園人工芝滑り台人工芝更新工事変更請負契約の締結	消費税改正により契約金額増額変更するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳥見山公園多目的広場改修工事変更請負契約の締結	消費税改正及び電源設備路盤変更に伴うもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事その1変更請負契約の締結	災害復旧工事（不時沼・沼沿・高久田・大池小分区）の事業量軽減化による変更請負契約額の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事変更請負契約の締結	災害復旧工事（旭・緑小分区）の事業量増加による変更請負契約額の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道復旧工事(雨水)変更請負契約の締結	災害復旧工事（雨水）の事業量増加による変更請負契約額の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第9号)	年度末事業確定等により24,140万円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○小林議員「鳥見山多目的広場の繰越事業について、請負契約金と1千万円の差があるが何故か。進捗率はどうか」 =A都市建設課長「繰越予算は余裕を持たせた。進捗率は24%である」														
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	国保一般療養給付費等の増額による4,349万円の増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	広域医療連合納付金5万円増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険会計補正予算(第3号)	事業確定により1,001万円基金積立	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地取得会計補正予算(第1号)	事業確定により1,700万円基金積立	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工業団地会計補正予算(第2号)	南部地区事業費繰上償還に1,947万円の増額補正及び4,520万円基金積立	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東区画整理会計補正予算(第2号)	事業減により2,501万円の減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
育英資金会計補正予算(第1号)	寄付金により39万円増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道会計補正予算(第4号)	事業減により866万円の減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道会計補正予算(第3号)	事業減による資本的支出5,100万円減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計予算	一般会計65,100万円の26年度予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度予算	国保会計外9会計の26年度予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要支援者予防給付を市町村事業とすることへの陳情	要支援者を介護保険制度の給付対象からはずし、市町村事業に委ねる提案を取り下げを求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める陳情	福島県最低賃金について、引き上げを行う環境整備と改定諮問を早期に行い発行日を早めることを求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
児童ふれあい交流施設新築工事変更請負契約の締結	消費税改正に伴う請負契約金額増額変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○円谷議員「消費税アップについては以前から話題になっていたが、契約が遅れた問題はどこにあったのか」 =A健康福祉課長「一校舎完成後にならないと、確認申請が取得できなかったという制度上の問題である」														
災害公営住宅建設工事請負契約の締結	災害公営住宅建設工事請負契約 高田工業株式会社 69,098万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職非常勤職員の報酬及び費用弁償条例の一部改正	岩瀬地方町村障害程度区分等認定審査会委員を岩瀬地方町村障害支援区分等認定審査会委員に改める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
要支援者予防給付を市町村事業とすることを取り下げをを求める意見書	要支援者を介護保険制度の給付対象からはずし、市町村事業に委ねる提案の取り下げ及び利用料の引き上げをしないことを求める意見書提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	福島県最低賃金について、引き上げを行う環境整備と改定諮問を早期に行い発行日を早めることを求める意見書提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄



○大規模災害対策  
**「大雪の中役場職員の体制はどうか」**  
 ○公共事業安全対策  
**「労災事故の発注責任はどうか」**  
 ○農業政策  
**「スイーツ開発は考えているか」**

古川文雄議員



**質問** 大雪が予想された中で、十分な体制だったか。招集までどれくらい時間を要したのか。停電や車両停滞もあったが、対策本部は設置したのか。

**総務課長** 町地域防災計画動員配備基準に基づき対応している。2月8日21名、9日38名、15日47名、16日43名が出動し、情報収集と除雪の応急措置にあたった。

**質問** 2月の大雪の際、役場職員の出勤状況はどうなっていたのか。



大雪対策における職員体制はどうか

**町長** 体制については動員計画基準や積雪量によって対応した。除雪は土木業者に委託している。招集時間はコンパクトな町なので、あまりかからないと考えているが、雪に対する認識が不足していたと反省している。町民の皆様にお詫びしたい。

**質問** 町発注工事における労災事故の責任をどう考えているか。作業員の職場復帰にはどれくらいの期間があったのか。

**総務課長** 震災以降2件の事故があった。復帰まで6か月程度かかった。今後、担当課の監督職員により、工事現場の安全管理の徹底に努めたい。

**質問** 町内の道路状況について、危険箇所は何カ所あり、それらの対策は具体的に行われているか。

**都市建設課長** 23カ所の危険箇所を把握し

**産業課長** 産業にとって大規模化は重



特産品でスイーツを

**産業課長** 国では農業の多面的機能の維持発展を図る改革を進めている。町では農家の皆さんが、こうした制度を有効に活用できるような支援するとともに、生産コスト低減や有利販売できる流通の確立を支援したい。

**質問** 減反政策の見直し等農業政策は大転換期を迎えている。町独自の助成策等は考えているか。

**産業課長** 国では農業の多面的機能の維持発展を図る改革を進めている。町では農家の皆さんが、こうした制度を有効に活用できるような支援するとともに、生産コスト低減や有利販売できる流通の確立を支援したい。

**質問**

**産業課長** 農家所得向上策として出荷規格外となった特産品を使った、町の代名詞となるようなスイーツ開発に取り組む考えはあるか。



○農村婦人の家管理  
**「利用者にとってより良い施設に」**  
 ○大雪への対応  
**「適正な情報伝達をより早く」**

小林政次議員

**質問** 農村婦人の家で使用者が利用する備品の種類と数量は、どのくらいあるのか。

**産業課長** 羽釜、せいろ、せいろ敷き、圧力鍋、へら、バケツ等21種類134個となっている。

**質問** どのような基準で備品を補充管理しているのか。

**産業課長** 近年の利用状況は自家用の味噌作りが多く、味噌製造に必要な備品を備え付けている。補充更新は、利用者からの要望をもとに予算の範囲内で行っている。



農村婦人の家の充実を

**質問** 修繕に時間を要するものや、予算措置が必要なものがあり、不便をかけている点もある。早く利用できるよう日常点検に努めたい。

**質問** 農産加工品特に、麴・味噌作りの技術を活かすため農産加工室を活用し、加工から販売まで結びつける方策は考えられないか。

**質問** 備品の現状把握はどのように行っているのか。行政の責務として「出来るものは、すぐやる」という姿勢が大切ではないか。

**産業課長** 農産加工室を利用し、農産物の製造、加工、販売を実施するためには、食品衛生法に基づいた施設の整備、各品目の許可や食品衛生管

**質問** 前日に近隣市町村の状況把握に努め、各学校と連絡を取り合い、教職員の通勤のための道路状況や児童生徒の通学路の状況また、16日には降雪が無かった事などを総合的に判断し、町内の小中学校については、通常どおり授業を実施した。



当町でも記録的大雪に（2月17日）

**質問** 2月17日中通りを中心に、県内23市町村において小中学校が大雪の為、休校になったと報道された。当町でも前からの雪の影響で道路状況は極めて悪かったが、学校の状況は、どうだったのか。



**教育長** 前日に近隣市町村の状況把握に努め、各学校と連絡を取り合い、教職員の通勤のための道路状況や児童生徒の通学路の状況また、16日には降雪が無かった事などを総合的に判断し、町内の小中学校については、通常どおり授業を実施した。

**教育長** 周知方法は防災無線等も考えられるが、どのような内容、方法で行ったのか。それは適正だったと考えているか。





○少子化対策  
「出産祝金制度を創設してはどうか」  
○地域産業の6次化  
「ものを売るための戦略をどう展開するのか」  
○共同墓地  
「将来的に墓地公園をつくってはどうか」

円谷 寛議員

一般質問

一般質問



○予算編成方針について  
「町民の要望を反映させているのか」  
○岡ノ内住宅団地訴訟事件  
「対応過程と今後の見直しは」

畑 幸一議員

教育長

今回の大雪は週末だったが、平日の場合も想定し、休校等の扱いも含めた体制づくりが必要ではないか。

質問

都市建設課長 今回の大雪では現状の体制で対応しきれない状況であった。今後どのような体制がよいか研究課題としたい。

質問

重機もオペレーターも民間依存を改め、自力の体制づくりを進めるべきではないか。

質問

総務課長 町の土木業者に委託し除雪したが、積雪量が50cmという今までにない大雪となった。この教訓を今後の除雪対策に生かしたい。

質問

温暖化の影響で北極の寒気が下降しているとの報道もあるが、今回の降雪時の除雪遅れの教訓と今後の対策をどのように考えているか。

質問

各学校では災害が発生した場合、児童生徒の安全確保を図るため「学校安全計画」を策定している。今回のような特別な大雪の場合には、緊急連絡を取り合って多くの人数で判断した方が良くと考えている。



予算に町民の要望を（予算審査特別委員会）

質問

総務課長 26年度予算は厳しい財政状況を認識した上で、限られた財源の中最大の効果が発揮できるよう創意工夫を凝らしたものである。予算配分については5次総合計画の5本柱を基軸に重点的かつ効率的に配分した。総合計画は町民の意識調査や代表による委員会を組織して意見を反映させた。

質問

町活性化事業について、特に主要事業の選択はどうなっているか。町民の要望を取り込む等、状況を把握することが不可欠と思うが、どのように対応するのか。

質問

今後とも町民の要望を把握し、予算に反映させるよう努める。

町長 他自治体でも様々な取組がある。昨年スポーツクラブ等、今までと違った取り組みを考えたい。

質問

町長 「後継者結婚相談員制度」を再度設置してはどうか。

質問

町長 今後の出生数の動向を見ながら検討したいが、子育て環境の整備も行いたい。

質問

町長 少子化対策として「出産祝い金制度」等、町が出来ることをしてはどうか。

質問

町長 平成23年4月に復旧工事及び支援の説明会を実施。その後、6月と10月にも説明会を開催し、平成24年7月に被災宅地の復旧工事説明会、

岡ノ内住宅団地訴訟事件について、団地の地権者との対応経過はどのようなものであったか。

総務課長 地権者との対応経過については、平成23年4月に復旧工事及び支援の説明会を実施。その後、6月と10月にも説明会を開催し、平成24年7月に被災宅地の復旧工事説明会、

質問

総務課長 当町の財政状況は早期健全基準を下回っているものの、実質公債比率は県内ワースト2位の状況である。今年度も1億円の繰上償還を実施したが、今後とも改善を図りたい。

質問

町長 財政健全化を進める町として、実態に合うような改善策や見直し案はあるのか。

質問

平成25年2月には工事内容の説明を実施している。工事内容は抑止杭やL型擁壁である。

町長 これからの農業政策は、作物を育てることから始まるのではなく、売ることから考えている。今回6次化の予算を提出しているが、新たなチャレンジを行うというものである。売ることには難しいが、前に進みたいと考えている。

質問

町長 地域産業6次化の最大の課題は、3次産業である「売ること」にある。ものは作っても、売れなければ何にもならないし、売れることは大変難しい。6次化の戦略をどのように展開するのか。

質問

町長 公園墓地については将来の検討事項としたいが、墓地建設の支援については行政として可能なものを実施したい。

質問

町長 判決によっては上告という形になると思うが、訴訟が長期化した場合、弁護士費用はどうなるのか。

質問

総務課長 以前別案件では2年くらいかかっている。基準的な弁護士費用報酬を計算すると大体1,900万円くらいになる。途中で何か調査費用等があれば加算されることになる。

質問

町長 訴訟の内容について、争点は何か。土壌の改良、廃棄物の確認等なのか。町としては確認しているのか。

総務課長 訴訟については地権者の要望で実施した。地質については工事に伴う土壌調査を実施している。この結果に基づいて土止め等は実施した。

質問

町長 町から代替地等の提案はあったのか。

質問

町長 町からはしていない。現在の土地について支援したい。

質問

事件は地震によるものであり、造成時には問題なかったと考えている。このため、口頭弁論では請求棄却という形で答弁書を提出した。



ものを売る拠点「道の駅」の整備を

町長 道は不可欠とも考える。マニアと言われる人達は、そこを歩くことを趣味にしているようだ。ネットに載るだけでも宣伝効果はあるので、是非取組んではどうか。

質問

町長 道は不可欠とも考える。マニアと言われる人達は、そこを歩くことを趣味にしているようだ。ネットに載るだけでも宣伝効果はあるので、是非取組んではどうか。

質問

町長 道は不可欠とも考える。マニアと言われる人達は、そこを歩くことを趣味にしているようだ。ネットに載るだけでも宣伝効果はあるので、是非取組んではどうか。

質問

町長 道は不可欠とも考える。マニアと言われる人達は、そこを歩くことを趣味にしているようだ。ネットに載るだけでも宣伝効果はあるので、是非取組んではどうか。

質問

町長 道は不可欠とも考える。マニアと言われる人達は、そこを歩くことを趣味にしているようだ。ネットに載るだけでも宣伝効果はあるので、是非取組んではどうか。

質問

町長 道は不可欠とも考える。マニアと言われる人達は、そこを歩くことを趣味にしているようだ。ネットに載るだけでも宣伝効果はあるので、是非取組んではどうか。



被災した岡ノ内地区（震災当時）